

西部電機株式会社

証券コード 6144

第91期

第2四半期 株主報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで



株主の皆様へ ・ *To Our Shareholders*



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社グループの第91期第2四半期連結累計期間
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の決算が
終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長 梶所 幸一

中期経営計画「チャレンジ280」の最終年 全社を挙げて計画達成に向けて努力して

Q 当第2四半期の業績について教えてください。

A 売上高及び各利益項目において
前年同期比で増収増益となりました。

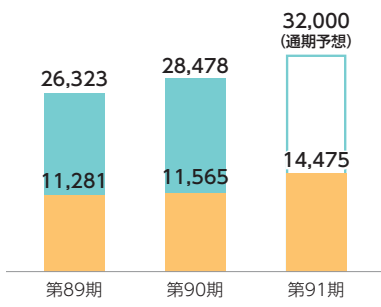
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、資源価格の高騰や物価高の影響がありながらも景気は持ち直しの動きが見られました。また、半導体をはじめとした電子部品の供給不足による生産への影響については、一部緩和も見られ始めました。一方、製造業においても原材料及び資源価格の高騰は依然として続いており、世界的な金融引き締めや中国経済の減速による世界的な景気後退の懸念もあることから、不確実性はますます高まっております。

この様な情勢の中で、2021年度から2023年度までの中期経営計画「チャレンジ280」の最終年度として、どのような環境下にありましても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。さらに、中期経営計画に基づきESG(環境・社会・ガバナンス)重要課題やSDGsに取り組むことで、持続可能な社会の実現と企業価値のさらなる向上を図っております。

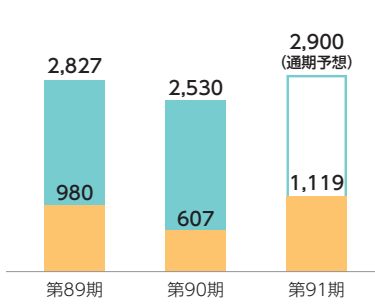
業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円・%)

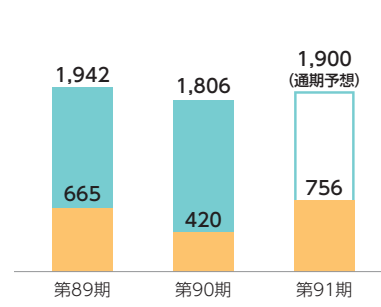
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



度として、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、まいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は、搬送機械事業が増加しましたものの、主に精密機械事業が減少して156億6千万円（前年同期比8.2%減）となりました。売上高は、すべての報告セグメントが前年同期を上回り144億7千5百万円（前年同期比25.2%増）となりました。また、損益においては、売上高の増加に加えコストダウンと経費節減に当社グループ丸となって注力いたしました結果、経常利益は11億1千9百万円（前年同期比84.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億5千6百万円（前年同期比80.0%増）となりました。

Q 通期に向けてはいかがでしょうか？

A 「チャレンジ280」の最終年度、計画達成に向けて、執念をもって取り組んでまいります。

世界経済の動向は、世界的な金融引き締めに加え、地政学的リスク、中国経済の先行き懸念など不透明感が強まっております。一方、日本経済においては、内需主導での成長が維持され、賃金上昇を追い風とした個人消費の回復も期待されます。企業の設備投資においてもデジタル化の進展や脱炭素化、レジリエンス強化の観点から生産設備機械の自動化や省人化、インフラ事業の需要など比較的堅調に

推移するものと見込まれます。原材料価格の高騰、円安、エネルギー価格の上昇など不安定要因はあるものの、当社グループといたしましては、様々な変化の波にスピーディーに対応し、計画達成へ向け執念をもって取り組んでまいります。なお、通期の連結業績は、売上高320億円、経常利益29億円、親会社株主に帰属する当期純利益19億円を見通しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

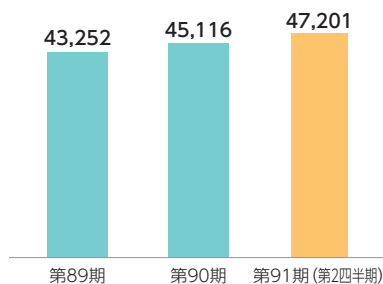
A 当第2四半期末の配当金は、1株当たり20円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

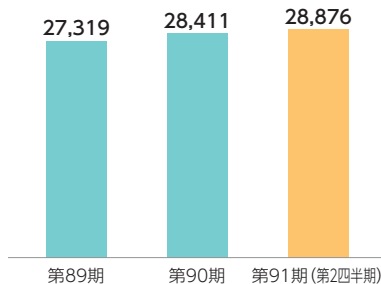
当第2四半期末の配当金につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

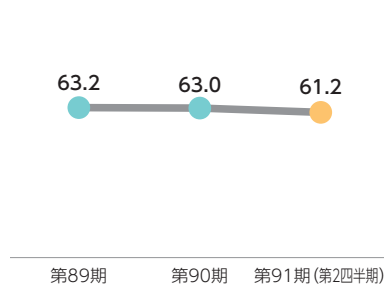
総資産



純資産

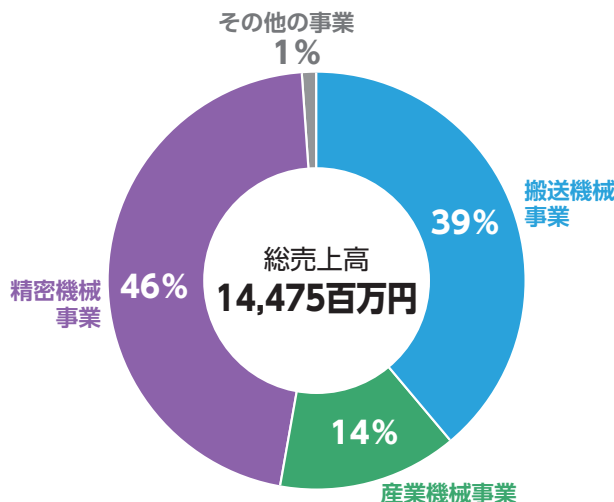


自己資本比率

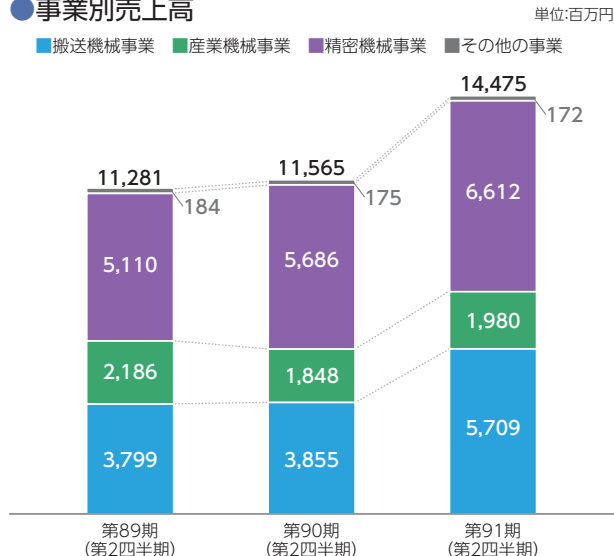


主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

●事業別売上高構成比



●事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **5,709百万円** (前年同期比48.1%増)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野等に、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は自動化や省人化の高まりを背景に流通業界や電気機器業界向けの物件の成約などがあり61億9千5百万円(前年同期比8.1%増)、売上高は電池業界や耐火物メーカー向けの物件などがあり57億9百万円(前年同期比48.1%増)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクス・マテハン

FAシステム (DIOシステム)



ロボティクスマテハン(トランジックカートローダー)



ロボティクスマテハン(カートケースローダー)



TOPICS マテハン試験棟竣工

2023年8月10日、昨年より建設を進めておりましたマテハン試験棟が竣工の運びとなりました。建築物は、高さ36.3m、幅40.5m、奥行9.0mと非常に高層な建築物です。

近年、マテハン事業においては、既存機器の品質・コスト・性能面での改善が急務となっており、加えて、新商品の開発へのチャレンジやスピーディーなお客対応についても継続して取り組む必要があります。これらの課題を確実にクリアし受注拡大と新規お客様の獲得を見据え、今回、マテハン試験棟建設に至りました。夜には“Seibu”のロゴマークが青色にライトアップされ、当社の広告塔としても役割を果たしています。

継続的に試験棟を有効活用し、新たな受注に繋げてまいります。



産業機械事業

売上高 **1,980**百万円 (前年同期比7.2%増)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。その結果、受注高は31億9千7百万円(前年同期比0.7%減)、売上高はゲート駆動装置やサービス・メンテナンスが増加し19億8千万円(前年同期比7.2%増)となりました。

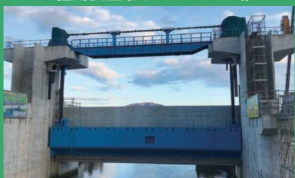
主要商品

■ バルブアクチュエータ ■ ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型チェーン式)



TOPICS ゲート市場拡充へ向けた新製品PRキャラバン

産業機械事業では、ゲート市場において掲げられている国策のうち【①インフラ設備老朽化対策②担い手不足の解消(省人・省力化)③気候変動を踏まえた流域治水対策】に重点を置いた取り組みを行っております。この背景に基づき、農林水産省を主な納入先とするゲートメーカー及びコンサル・土地改良区をターゲットに、下記のキャッチフレーズを掲げ、新製品PRを実施しました。

「Green Energyで農業水利に提案!!」

- 1)「水路堰の電動化による操作労力の省力化」
- 2)「再生エネルギーを利用した、独立電源モジュールによる省エネ化」
- 3)「らくらく自動運転による省人化」

3トン車同へ実機を搭載したキャラバン方式で5月に九州をスタートし、本州・四国とリストアップしたゲートメカ54社、地方自治体44団体を訪問しました。展示品は、「Semflex-WD(ワイヤーロープウィンチ式ゲート駆動装置)」「Semflex-LR(ギヤラック式ゲート駆動装置)」の2機種で、お客様より製品特長、使用用途について大変ご好評頂き、現時点で28件の引合いを頂いております。1台でも多く実機を市場に納入し、確固たる信頼を築き全国の農業利水分野への拡販を図ります。



精密機械事業

売上高 **6,612**百万円 (前年同期比16.3%増)

精密機械事業では、半導体市場や電気自動車関連の需要はあるものの中国の景気減速の影響もあり、受注高は61億1千7百万円(前年同期比22.9%減)、売上高は製品の生産・出荷が順調に推移し66億1千2百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

主要商品

- 超精密・高精密ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 高精密自由形状内面研削盤
- 高精密小形NC旋盤
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MM50UP)



高精密自由形状内面研削盤(SFG-35HP)



TOPICS INTERMOLD 2023 出展

2023年4月12日～4月15日の4日間、東京ビッグサイトにINTERMOLD2023(金型プレス加工技術展)が開催されました。総来場者数は39,045名(前回比約352%)で大幅増となり、当社ブースの来場者数も1,141名(前回比約138%)と過去最多となりました。

今回は「～いいモノ創ろうSeibuから～」をテーマに、ワイヤ放電加工機では、昨年リリースした超精密機「MM50UP」と大型プレート対応の「MM75B」を、工作機械は、冷間鍛造市場をターゲットにした「SFG-35HP+ロボコンボ」の3機種を展示いたしました。特に新機種「MM50UP」への注目度は高く、多くのお客様が実機を見学され、同製品が誇る機能・精度への関心の高さを感じました。

今後も、顧客のニーズをいち早く察知し、事業部一丸となり、広く社会に貢献してまいります。



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

第2四半期連結貸借対照表

科 目	第90期 2023年3月31日	第91期第2四半期 2023年9月30日
資産の部		
流動資産	25,070	26,536
固定資産	20,045	20,664
有形固定資産	12,312	12,805
無形固定資産	243	345
投資その他の資産	7,489	7,513
資産合計	45,116	47,201
負債の部		
流動負債	12,667	14,258
固定負債	4,037	4,066
負債合計	16,704	18,325
純資産の部		
株主資本	21,546	22,006
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	16,335	16,789
自己株式	△63	△58
その他の包括利益累計額	6,864	6,870
純資産合計	28,411	28,876
負債純資産合計	45,116	47,201

第2四半期連結損益計算書

科 目	第90期第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第91期第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	11,565	14,475
売上原価	8,506	10,637
売上総利益	3,059	3,837
販売費及び一般管理費	2,502	2,743
営業利益	556	1,093
営業外収益	57	66
営業外費用	5	40
経常利益	607	1,119
特別利益	9	—
特別損失	6	5
税金等調整前四半期純利益	610	1,114
法人税、住民税及び事業税	3	233
法人税等調整額	185	124
四半期純利益	420	756
親会社株主に帰属する四半期純利益	420	756

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第90期第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第91期第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	735	2,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682	△327
財務活動によるキャッシュ・フロー	△395	△319
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△343	2,147
現金及び現金同等物の期首残高	13,654	10,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,310	13,138

会社概要 • Corporate Profile

2023年9月30日現在

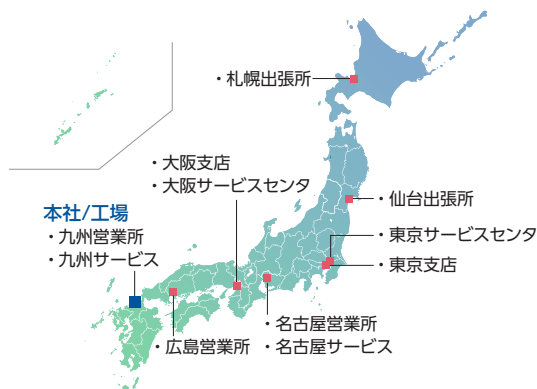
会社の概況

商 号	西部電機株式会社
英 訳 名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目 3 番 1 号
設 立	1939年2月1日
資 本 金	26億5,840万円
従 業 員 数	570名 (連結624名)

役 員

取締役社長 (代表取締役)	税所 幸一
常務取締役	後藤 俊哉
取 締 役	佐藤 徳生
取 締 役	溝田 安彦
取 締 役	村上 光平
取 締 役	松下 和宏
社外取締役	馬場 信哉
社外取締役	福田 俊仁
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株 主 数	2,277名

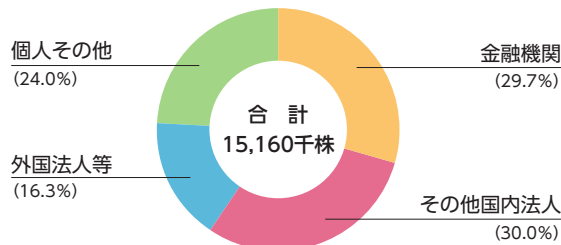
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社 安川電機	2,630	17.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,699	11.2
株式会社 日本カストディ銀行 (信託口)	1,511	9.9
株式会社 豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	706	4.6
株式会社 三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社 福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社 西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	403	2.6

(注) 1. 持株比率は自己株式 (10,364株) を控除して計算しております。なお、自己株式には株式給付信託 (BBT) の信託財産として信託が保有する当社株式48,200株は含まれておりません。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2021年8月10日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2021年8月2日現在同社が3,760,000株 (保有割合24.80%) を所有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等で 株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受 取り方法の変更などの お問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社 株式関係書類のお問い 合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い 合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供 制度(書面交付請求)につ いてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記 みずほ信託銀行までお問い合 わせ願います。	
ご 注 意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。



株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1)対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2)優待内容	保有株式数100株以上でフオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3)贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。